

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成21年5月 7日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 13 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	タービン補機冷却系熱交換器(B)貝殻除去装置ブロー配管止め弁において、シートリーク(鉛筆1本程度)が認められたため、当該弁を点検・補修。	D	
2	1号機	抽気系第一抽気管ドレトラップにおいて、水位高の警報が発生(約1回/分)する事象が認められたため、対応検討。	C	H22.09.08再審議にてグレード変更「D」→「C」
3	1号機	格納容器圧力の低下傾向が認められ、調査したところ、原子炉隔離時冷却系タービン排気逆止弁にシートリークが確認されたため、対応検討。	C	
4	1号機	復水系高圧復水ポンプ(B)の反カップリング側振動記録計(水平方向)に指示値不良(指示値が低い)が認められたため、調査及び対応検討。	D	
5	1号機	抽気系低圧タービン(C)第10段抽気ドレン弁において、開出来ない(閉固着)事象が認められたため、当該弁を点検・補修。	D	
6	1号機	給水加熱器(2C~6C)において、水位異常警報が発生(瞬時)する事象が認められたため、原因を調査。	D	
7	2号機	取替新燃料受取検査終了燃料をチャンネル着脱機A号機に移動し、チャンネルを取付けようとしたところ、着脱機が動かない(制御回路故障)ことが認められたため、当該チャンネル着脱機を補修。(当該燃料は、新燃料貯蔵庫へ保管)	D	
8	2号機	制御棒(座標:22-27)の挿入、引抜き定例試験において、計算機監視項目軽故障(制御棒座標:26-23の異常)警報が発生したことが認められたため、対応検討。(制御棒22-27、26-23の動作に異常なし)	D	
9	2号機	復水補給水系復水移送ポンプ(B)軸封部より漏えい(10滴/8秒)が認められたため、同ポンプ(B)から(A)に切替実施、当該ポンプを点検。	D	
10	2号機	換気空調系中央制御室加湿器用液位計上部継ぎ手部より微少の蒸気漏れが認められたため、当該継ぎ手部を点検・補修。	D	
11	3号機	復水ろ過装置ろ過器(H塔)出口流量記録計において、指示値不良(ハンチング)が認められたため、当該流量計を点検。	D	
12	4号機	非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ(B)定例試験時、吐出圧力計に指示不良(ひっかかり)が認められたため、当該圧力計を点検。	D	

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
13	4号機	復水ろ過装置ろ過器(K塔)の逆洗工程操作時、待機工程に移行しないことが確認されたため、調査及び対応検討。	D	